

男子戦評

大会名 第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦

日 時 平成24年11月3日～4日

会 場 青森市民体育館

男子決勝（11月4日）

五所川原工業高等学校	3	$\left\{ \begin{array}{l} 25-23 \\ 22-25 \\ 25-15 \\ 25-18 \end{array} \right\}$	1	弘前工業高等学校
------------	---	--	---	----------

ファーストレフリース	<u>岡村尚文</u>
セカンドレフリース	<u>晴山雅紀</u>

7年ぶり5回目の選手権大会出場を目指す五所川原工業高等学校（以下五工）と7年連続37回目の選手権大会出場を目指す弘前工業高等学校（以下弘工）との対戦。第1セット、五工はサウスポーのミドルブロッカー加藤によるBクイック、弘工もミドルブロッカー仲谷のBクイックと両チームとも速攻からゲームを組み立て、シーソーゲームが展開される。今大会注目選手の五工サイドアタッカー工藤（巧）に対しては、弘工が3枚ブロックで対応し、なかなか得点をあげることができない。20-20までもつれた展開は、弘工松澤のレフトからの攻撃を、五工は桑村そして対馬の連続ブロックによる得点差を守りきり、第1セットは五工が25-23で先取る。第2セット、中盤に弘工はサイドアタッカー日渡にボールを集め、日渡の5連続ポイントなどで11-16と弘工リードでゲームが進む。第2セット中盤以降息を吹き返した五工のエース工藤（巧）は、弘工の3枚ブロックをはじき飛ばす力強いスパイクやバックアタックによる5連続ポイントで、21-22まで追い上げる。しかし、弘工は日渡の時間差攻撃などで五工の反撃を振り切り、22-25で弘工が第2セットを得る。第3セット、五工はエース工藤（巧）やミドルブロッカー加藤の活躍で中盤までに18-10と大きくリードを広げる。一方の弘工は、ミスが重なり、五工有利のゲーム展開となってしまう。最後も工藤（巧）がレフトからのスパイクを豪快に決め、25-15で五工が第3セットを得る。第4セット、キャプテン工藤（悠）のサービスエースなどで10-5と五工が波に乗る。五工は加藤のCクイックからの一人時間差攻撃とジャンプサーブによる連続得点で14-8までリードを広げる。弘工もエースの一戸のライトからの攻撃で追い上げを見せるも、序盤の差を縮めることができず、最後は五工キャプテン工藤（悠）が弘工松澤のレフトからのスパイクをブロックし25-18となり、セットカウント3-1で五所川原工業高校が7年ぶり5回目の選手権大会出場を決めた。

戦評者 猪股豪